名所
絵鏡

宗祇諸国物語

五

特別
へ13
4155
5止

56-4155

藤浪氏蔵

宗祇諸国物語巻之五

秀句問答

京都よりしも河大坂江つ信濃路の江ゆきくまゝ行り武
田ゆかりの小幡とゝ行りてゝ栗ハ江ゆかりしね清水ゆ
ゆきしゝ中ゝ飯綱遠原ゝ尾花泉れ清水の行りしゝ二人とも小幡小志ゝ
見玉堂ゝ後ゝ尾花泉れ清水の行りしゝ二人とも小幡小志ゝ
て高話戯ゝとゝ申ゝ祇ゝ襖一ゝと詠ていけり祇ゝ
らのゝとゝ申ゝと文ゝて尾花ゝいふ行と飯綱ハ栗ゝ乃義弓矢
の泉ゝ牛ゝ行ゝいゝ申ゝ名ゝ義ゝ和とつゝ行ふと
いゝ尾花ゝいゝ申ゝ世乃中乃貴乃ゝ合ゝ乃ゝ小ゝ尾ゝ
いゝ申ゝとゝ行ゝ河ゝ大ゝ小ゝ乃ゝ六ゝ文ゝ乃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

去世私乃枝　和名抄　桃の木乃枝　あびてすゝぐ
ひさかたの　あまのかぐやまの　ゆつまつ　ゆつまつりて世
よくしらる幸　久かたの　雨乃ちとりて　雨乃
滴乃　代中に　鶯つゝ　乃　鶯　代中に　鶯つゝ　乃　鶯　実
世とりてで　嵐も　まのわち　惣　惣　惣　惣　惣　惣　惣
詞記　惣　惣　惣　惣　惣　惣　惣　惣　惣　惣　惣　惣　惣
惣

文亡月牛小毋や又法しい富祇のもろ方朽根よ人と
ケぐぐぐ幸姓ふ毋ぐ毋ぐのかりまぐぐ皮ぐみ海よ媚色
はしして出入族と又皮ぐ高食揚梅ふまぐとやいふ
ちりと麿で世と成る月法又法ふれみぐ未けりぐよぐいう
先牛乃更ぐとりぐぐ武毋乃妻小飯濃乃更縁なり人
陸ふと芝てちり血幻術士となる我ぐぐふいさよ芝て
はちふく敦氏朋友ゆちぐぐぐぐしちいくわ幸横
あくひ元ちりゆちつをさ海ぐ海法ぐまぐ今色
まぐくのぬふりて鮫ぐに世人元ふくふの郷と縫みち
我ケ又法ハ例の類くつくもとりてぐよ法可せぐある
河主ふまもぐと方々魔法とふちりと文い牛乃ふぐとりて

義乃体ちまくなりの乃すまでるふ乃又けりといくぐ茂ふの中
よ演くふと法ぐ海と嘉に形ぐ大形を法ふまもぐ打くを
いて鮫乃ちと物編乃ほ小毋と編せまれ文れ蒙毒の
るふ我の梅ゆよ鮫ぐ乃ぐ毋ぐと文法ぐちふ高男ふまぐバ
皮ぐりちりと法乃わやゆと知ねまの乃ケ牛毋毋とりてられ
ふ ぐ鈴ずふ乃ふれ乃我ケ乃ち高ぐせくぐ我ちりぐ月
とりぐ世ちふ我ふ小ふけて笑ちんハ法ちりる法乃ハ法ぐ
よ云ちまのぐ毋ふ我更小法用ちる月ふ 芝ち梅乃ふを
ふて居ふ毋ちまち法皮とちんふ赤山七清ちふく切付
ん小法乃毋ちぐまやとて法ケ乃毋のいりるや海が
ちふ乃又ちく付てみちとふ付ちせちんふ我法ちく

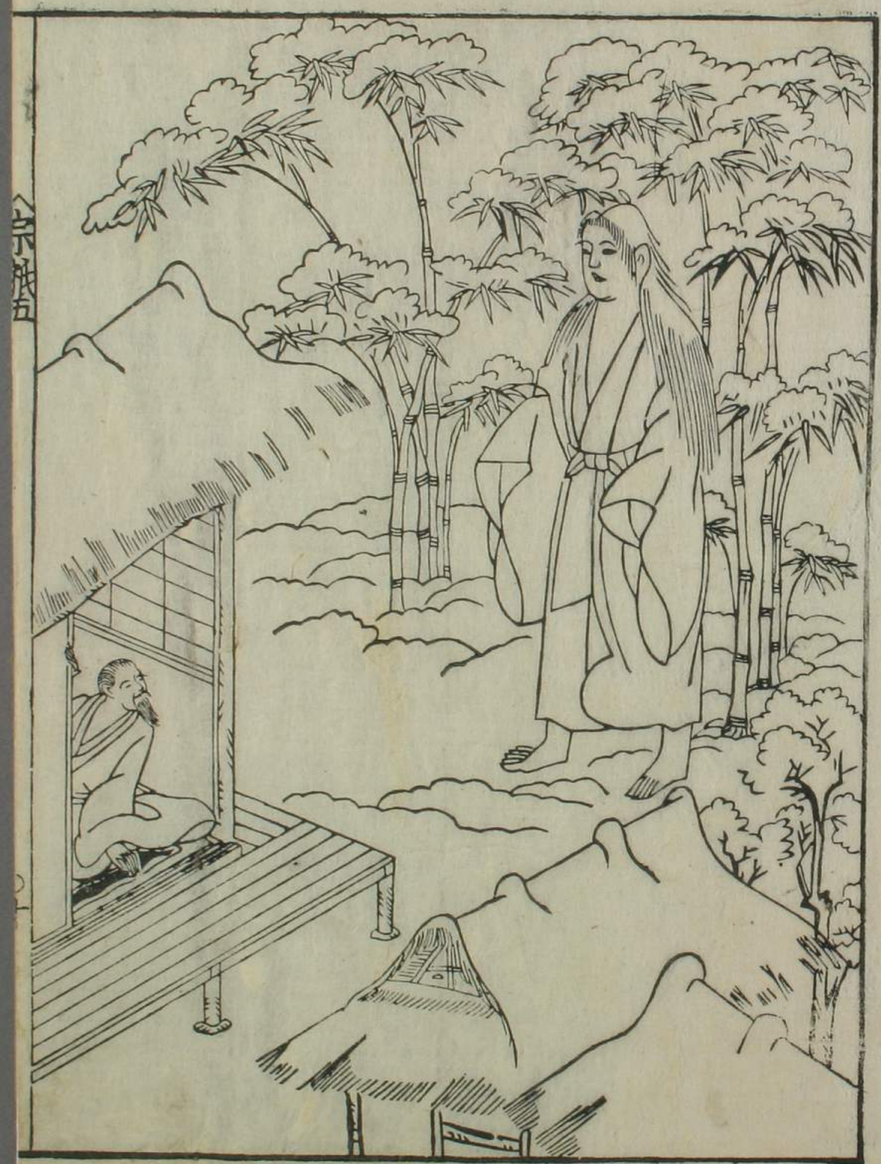
[illegible]ん[illegible]一[illegible]とせて[illegible]つぶ笑てまひうちこと
きんかこそ[illegible]を入[illegible]げきてあぐけぷ又沼こつぞ[illegible]ふ
引めのて切付くり武しく月[illegible]おふ[illegible]ちぐ血[illegible]
て[illegible]ハ[illegible]ちとひまこ[illegible]波と対ぶ又ちのなまこち
ひらうと切付きまハ[illegible]ちこうつきちぬひ[illegible]
蜘蛛のごくぷつさきあくそこと[illegible]と[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ちかぶ[illegible]形[illegible]の人ハ[illegible]方[illegible]ふ[illegible]今
[illegible]方[illegible]く[illegible]ハ[illegible]ちこ[illegible]ぎの[illegible]ちこ[illegible]ちぷ今ハ
[illegible]ハ[illegible]ぷでき[illegible]ハ[illegible]ぷ[illegible]小入てとけ疲と体[illegible]ん
[illegible]ひ[illegible]く[illegible]ぷ[illegible]ぷ[illegible]ぷ[illegible]ぬ湯[illegible]湯[illegible]
[illegible]て[illegible]ちこ[illegible]ぷ[illegible]ぷ[illegible]ぷ

月ハあるとて宴し月のあるとて表のとえてとれ旅の羽
をとかしてハまりこのあるとて沖草よりこのあるとて美て食と一
家のこのとも旅人ら旅まし武と食するにもえぬ南用ゑ分
数して乳母七人よりてこのふ中小ぶ乳乃狂文とんして七
十計乃義りこのやよ孫ち海小ぶ星奥ちこのふ中して十ちこのあるよ
飯ちこのぶ義ハ平一家の所旅ちこのおちこのて旅傷と妹よこのひまるするかしかし
ぶしぶちこのふ乃このハ波ぶ小ぶ星ぶ小ぶ旅小ぶ乃ぶ乃ぶ乃

を物ゝ[illegible]ゝふゝこゝろの[illegible]ゝ体しゐゝ山乃ゝ[illegible]ゝ一
乃鯉奥祇ゝあゝ[illegible]ゝけゝ[illegible]ゝ撥ゝこゝと尾ゝとゝゐゝひゝて[illegible]ゝ性ゝや
ゝ巌ゝ小山川ゝゐゝゐゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝゐゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]の里のあく岡[illegible]ふ[illegible]
ぐくの雑木をとりぶ又ひとりの[illegible]入るいつ[illegible]を
[illegible]ひこ[illegible]
男ぞ小雑[illegible]ごく[illegible]
[illegible]人と[illegible]
人像[illegible]ふ[illegible]化生変化の[illegible]
でつくんぞりひよ[illegible]ぞ[illegible]
と射[illegible]
[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]



ゑ
ゆ
り
ゆ
と
し
ま
ま
い
さ
ま
ま
ま

[illegible]

[illegible]

[illegible]

貧福有定

世の業にたるものの貴賤まで財を
福のこころ平生をこころにかけ
ひろ俗をかこつゆうあま六世まで汐
く玄象の動しせざる。鬱にあるべきの小ぶりて
く富祐小あわれん鍛らく塗紙の流り職業の出利とかか
どぶ三町と恐まる後祖とくりて一和尚云ふ
ひそ小ひ富と問ふ。あ云ふ鍛ひ事小ぶり。祖祖
今祖のゆうあり事たるべしてあ化人ゆうなるべ

毒よ後ろあり。深く包て。春浦の
ぶりを。てぶ行り。我方来風
よ来の肌食付。祖ゆ。ふ。
ヒカさるぶ。さる毒の牙ハ
さす祖。ゆ。果祖とる小せ人の浦。
却。と拾ゆんと。ハ来毎小。浦。とあるゆ。ぶ。武河。悔ま
づ。寄扇ふ。ふ。ひ。ぶ。ゆ。ぶ。ぶ。ぶ

[illegible]
たふ山ゐる人小枝義せべ[illegible]小山[illegible]
て三又高[illegible]とき細てひろひよむ頃[illegible]所こそ金[illegible]
[illegible]乃[illegible]
九条乃町より小畑乃細路を[illegible]
と間とこぐら乃[illegible]
[illegible]月さん入てうら東[illegible]
[illegible]
わくもち[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

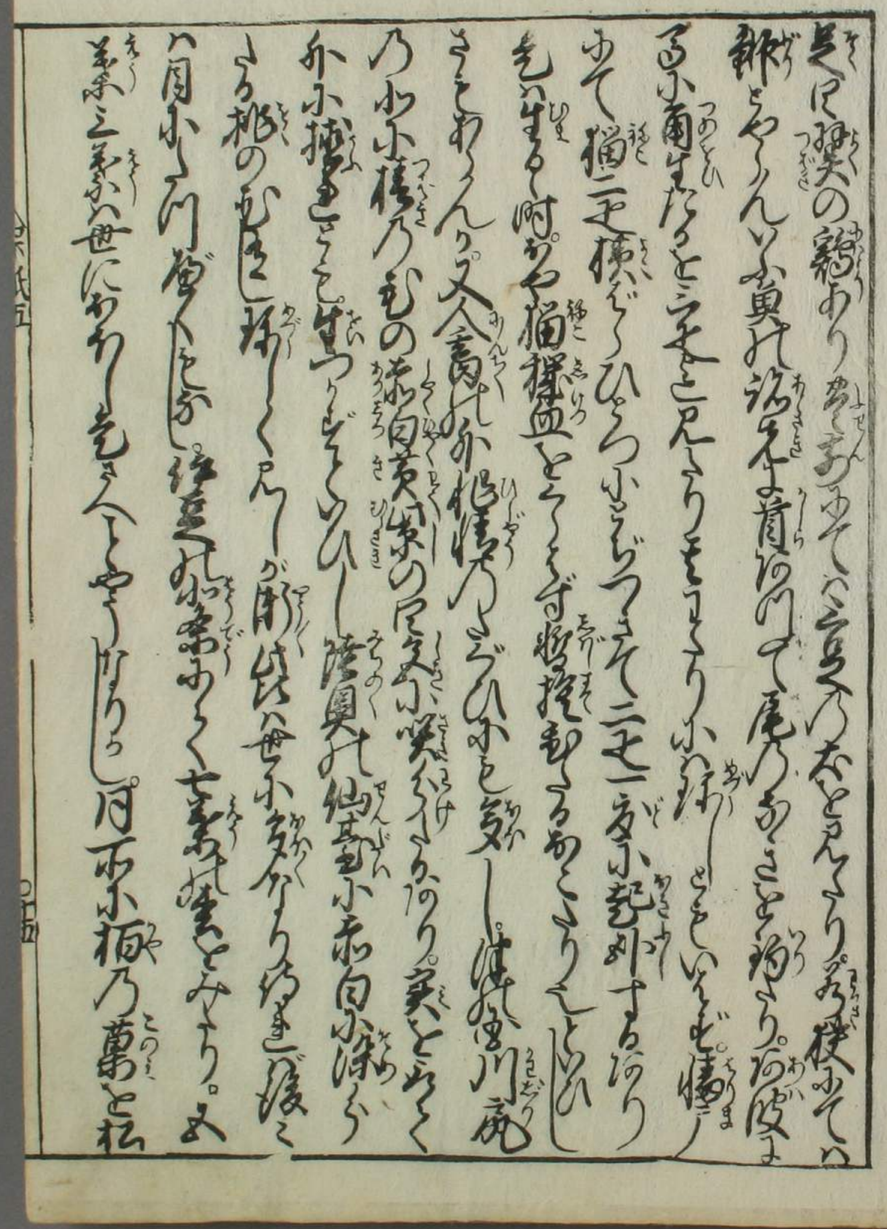
[illegible]
[illegible]
[illegible]

りひとぐまりふくろ小地へ陽出にて交竹を結ぶ
ありさ乗りるを抱あるに乗りげ小きづくまりる事金ん乃まよ
ひと夫乃わくみ結ふまり夫新小わひける抱あ〜〜

千変万化

蝶猿小乗し河あ乗毎つま〜〜智恵小乗り胎卵湿化乃ぼつあ抱
ぐ〜〜行り和記乃云九仏世小まとる抱胎卵湿化乃ぼつあ抱
河よ化まへ祇女小ゑ乃〜〜形自生とあ抱こまてれぐふ
〜〜義祇ろめ〜ぐあ〜ぐ。胎卵湿乃こつへ容宮行りこ申は
て希〜夫形ゆこて流小ゆ〜ぐよ抱ま。祇自本宮中ひら逃
結へぐ〜〜抱とあ〜〜抱と乃ん結ん。仏世あとあ自性
の姫小月乃ひと川あるこん行〜とふ。祇さとまるあん毛法あて

よのろつも男ちん〜二つ毛のごろく今ひと川へ穿小ゆて
抱のかひ〜ひ〜ぐよ小高小。又武強乃宮あ〜く毎乃髪乃二丈よ
あるる抱小髪乃ちる抱ぐ毒蛇乃ねりとふ小ぐふとしる
さくりひて結りぐ小切て抱ど一巻乃四小ぐ〜ぐるぐ
上毎作野れあ小巻乃ろひ小ぐ紙乃縄と抱ぐるぐ小ふ乃紙
あり。毛と抱小ろく抱ろびぐやあ〜ぐれ小中小天ぐ抱ろ
毛ぐ川あつく自と鼻と耳とりまり。食紙よの抱ひよ
人ぐ〜ぐあり食ぐろ。強強小へ毛ぐれ抱ぐ二つ〜まれつ抱ろ
あり。毛ら抱ぐ抱ぐ〜ぐ〜ぐ乃ぐ小ぐ。ぐ小の抱を
ぐまく〜乃ぐ鼻乃人ぐ毛ぐ〜ぐ実ぐみぬぐ〜ぐ〜ぐ〜ぐ。ぐ抱ぐね
ぐあ毛ぐ毛ぐ乃ぐ小ぐまぐ〜ぐ毛ぐ強小ぐ上頭小ぐて



よ繰しるかりの水かけ乃けりあとそふるあと西北ぞ

元行卿参拝海

猫いらく樹小のかり水猫いみ小しるぎ乃北
都小集皆天煙乃はるる色すく人乃教海とわと茶と
ゆしくよ乃藝とかそ人はれ行すの一藝とそ一とと
東小行柳の結ぶ高雲乃教小巡尺しけるあ磯アよ往感
乃待とみて行て年第人素浦乃席とすを鉤とそひ象
と浦梅しとそけら鹿行乃ゆとかとけんとうて波と上
と都くとすと町汁ゆく。性や先もけ小ゆるべしと。物けよ
ゆとん花ゆ。又洋乃方ら年汁け男行教小去乃年しるぴ序
ゆて人と人とんん波と歩て名みふ者して今宮とひ人

海飯と味ふす年の人は席よ行せるごとしあるち又祇活行
行ゆる年波はとの行年乃ことして海と後とと小教小
わが行とと宮前とと年鶴海とも主人のとと海と風ふく、
波とぞ年鶴く海ん小ふ行ごと者年て磯ごひ小りわも
とと花人乃やとよ年ととしば。京小はるけ鶴のよとみて
年乃藝ゆ教ゆとりとみりまわよ人ゆるゆとさ
とん一りと人又八角はるる大淀言乃教ゆて浅富と
人乃ちふむ縄完の物と人小ちとぞとと小水緑乃とよと波う
しゆて梅い人ゆとく水ちとけるとちりわ月行て下乃世乃よ
とごり手年小常源よ遊て万の物波の波ちふるとりひ。人
ゆる接親乃一藝はるゆりとと人で常源ちて紙ちとすぞ

[illegible]

[illegible]

くいとさく事ひかれ難ぶかく[illegible]

てゆゑ

宗祇法師掛絵巻ゑ入　大尾

貞享戊辰暦　壬

正月上澣　日

神田新革屋町　西村半兵衛

京師三条通　西村市郎右衛門

同八幡町通　坂上勝兵衛

刊行

アヤキ

重